



明日を語る。○ ふるさとを語る。

あけましておめでとうございます。野に、山に、街に、新しい光
が届き、新年が穏やかに始まりました。

今月号は、和歌山県出身で「紀の国大使」でもある俳優の小林
稔侍さんを迎えて、仮谷知事と「ふるさと和歌山」について語って
いただきました。

「お雑煮は白みそでした」

知事 小林さんに初めてお会いしたのは、平成元年に県文化奨励賞を受けていた時ですが、じっくりと話す機会は、今回が初めてですね。もちろん、

テレビを通してはたびたびお目にかかるつているんですが。

小林 ありがとうございます。

最近は何かと忙しくて、和歌山へも年に一度か二度あわただしく帰るといった状況です。知事さんもお忙しい身ですから、お互いゆっくりできるのはお正月ぐらいということになりますね。

知事 そうですね。子どもの頃は、お正月に父親から説教されたものです。それから山や海で遊んだり…。その頃食べたお雑煮の味は格別でしたね。

小林 昔はお雑煮の中に入っているおもちでも貴重でした。今では年中ありますが当時は年に一回あるくらいで。私の故郷、かつらぎ町では白みそのお雑煮で、柿の葉ずしなんかもよくつくりました。

知事 私は串本町の出身ですが、お雑煮はすましでした。すじではさんまずし、めはりすしなど

が多いですね。
小林 同じ和歌山県でもずいぶん違いますね。

「故郷は『農業国』」

知事 南北に長い和歌山県では紀北と紀南で慣習や風習などはずいぶん違うものです。最近では、交通手段が発達して差はある感じられなくなりましたが、それでも、まわりの自然環境、歴史、風土によって違いはあるでしょう。特に伝統的な行事は、それが濃く残されています。そういった伝統的なものは後々まで残していく必要がある

と思います。

小林 私の故郷では紀の川が流れまして、小さい頃は泳いだり、いかだに乗ったり、よく遊んだのです。

知事 ゆつたりとしたきれいな流れが目に浮かびますね。

小林 はい。当時、家から川までの道すじは見渡すかぎりの水田で、季節ごとの光景が今でも焼きついています。私は人に「故郷はどんなところ」と尋ねられた時、「農業国」と答えんです。もちろん今はついぶ

ん変わっているだろうし、県全体がそういうわけでもない。でも、私の子どもの頃のイメージとしては「農業国」。そんな中で育ったことを、自分ではとても誇りに思っています。俳優という人気商売を仕事としているせいでしょうか、故郷と大地に根を張っている「安心感」を重ねあわせているんだと思います。

知事 子どもの頃の故郷はいつもでも記憶に残るものですね。その点、私の故郷では海が不可欠です。海には人に開放感を与える作用があると思われます。紀北、紀南をあわせて紀州人気質とすれば、あまりこせこせしない、おおらかな感じがします。温暖な気候のせいでしょうか。

例えば、かつお節やしょう油など、自分たちで見つけ出したものをわざわざ全国へ教えまわっている。損得にこだわらないとも言いますか。それと、南方熊楠、陸奥宗光といったスケールの大きな偉人を大勢輩出している。これも、小さいことにはこだわらない紀州人の気質かもしれません。



一面から続く

「人に「見られる」のが苦手」

小林 県民性といふものですね。

変な話ですけど、和歌山の人は頗立ちは温かく人が多いような気がします。私も含めてですけど。そう言えば知事さんも……。

知事 (笑)

それでも、和歌山の方言は他の

地方の人方が聞けば、きっと感じ

優という仕事が苦労が多かつ

たのではないかですか?

小林 苦労というほどでもない

ですが、楽屋で台本を読んでい

るうちに、標準語のアクセント

のわからない言葉がたびたびあ

るんです。そんな時は「ちょっとトイレ」とか言つて妻に電話

をして聞いたのです。なお

ものではないですね、方言は。

知事 和歌山の方言は敬語が少

ないらしいですね。これは和歌

山が昔から民主化が進んでいた

からだという説もあるんですが。

小林 これは言葉ではなく性格

の問題ですけど、私は元々人に

「見られる」のが苦手なんです。

どんな役柄でもお受けしますが、

芝居もオーバーになればなるほ

ど嫌になってしまう。自分をアピールするのが下手なんですね。そこから先が出てこない。私の故郷にはこういう人間が多いんですね。「素朴」とでも言いますか……。

知事 だから一旦認められれば

「本物」の強さを發揮する。実力がある。底力を持つていてると

いうことです。小林さんは

じめ和歌山県出身の人はそういう人が多い。

小林 来年には大がかりな博覧会も開催されるそうですね。小林 はい。来年、七月十六日から九月二十五日まで「世界リゾート博」を開催します。現在建設中のマリーナシティ、これは甲子園球場の十二倍の大きさの人工島なんですが、ここをマリースポーツ、ヨットハーバーなどリゾートの基地とします。このマリーナシティを中心として、従来の見学型の博覧会から体験型の博覧会として、楽しめるものを考えています。週休二日制

小林 話は変わりますが、高速道路がつながるそうです。それに関西国際空港もできる。和歌山県も実力をつける時期が来ているようですね。 知事 そうです。今まで和歌山県は大阪に近いけれども、和泉山脈の影響でいろいろな不便さがありました。それが、阪和自動車道が通じることによって、交通面で便利になるだけでなく産業が発達し、さまざまな情報も集まつてくる。そして、関西国際空港が完成すれば、大阪だ

小林 私も「紀の国大使」として何か応援できればいいんでしょう……。

おしらせ 県庁・県教育庁は 〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

養成訓練			能力再開発訓練	
和歌山高等技術専門校 〒649-62 和歌山市小倉90番地 ☎(0734)77-1253	理容科 木工科 建築科	30人 20人 20人	N C工学科	10人
田辺高等技術専門校 〒646 田辺市新庄町1745-2 ☎(0739)22-2259	板金造形科 自動車整備科 塗装工芸科	15人* 15人* 10人	塗装工芸科	10人
新宮高等技術専門校 〒647 新宮市佐野1378 ☎(0735)31-7329	構造物鉄工科 建築科	10人 10人	構造物鉄工科 建築科	10人 10人
訓練期間	*印は2年 その他は1年	1年		
応募資格	中学校卒業か卒業見込みで30歳以下の方	職業を転換しようとする方または新たな職業に就こうとする方で30歳を超えた方		
願書の受付期間	1月25日 ~ 28日			
選考日時	2月12日 午前9時30分			
選考方法	筆記試験(国語・数学)及び面接			

くわしくは最寄りの公共職業安定所または各高等技術専門校へ

催し

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

レニングラード国立バレエ 1月30日 午後5時~
大ホール S席10,000円 A席8,000円
B席6,000円 C席4,000円

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室 「洋ランの育て方と花付きをよくするポイント」 1月24日、31日

洋ラン展 2月6日、7日 梅盆栽展 2月13日、14日

(県立自然博物館(海南市)は1月2日から開館します。(ただし、1月4日は休館です。)
☎(0734)83-1777

(県立図書館本館(和歌山市)は、現在建設中の新県立図書館への移転作業及び開館準備のため、1月5日から新館開館(夏頃を予定)までの間、臨時休館します。

お気軽にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月~金曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所 1月11日、18日 受付 午後1時~2時 ●東牟婁県事務所 1月8日、22日 受付 正午まで

〔巡回相談〕●西牟婁県事務所 1月19日 ●伊都県事務所 1月27日 ●日高県事務所 2月2日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月~金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所
〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日受付 午前9時~11時 場所 県庁県民相談室
〔移動相談〕●美里町民会館 1月20日 ●新宮市職業訓練センター 1月25日 ●西牟婁総合庁舎 2月9日 受付 午後1時~3時30分

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山)

きのくに'93 金曜日 午後10時~
ホットライン県政 (再) 日曜日 午前11時~
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分~
県民チャンネル 月~土 午後8時55分~
はばたく紀の国 土曜日 午後6時~

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時30分~
県庁だより 月~日 午前11時40分~
(再) 月~金 午後5時40分~
(再) 土・日 午後6時~

定期便教育の窓 第2、4土曜日 午後2時15分~

文字放送 (テレモ西日本511#)

紀の国・和歌山情報 毎日午前6時~深夜0時

募集

「和歌山県の鳥」

日時 2月11日午後1時~
場所 県立自然博物館

対象 中学生以上

定員 50人(先着順)

参加料 入館料のみ必要

申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢を記入し、電話番号を記入し、3月2日までに電話で県立紀北青年館へ

事務所総務課 ☎(0734)33-10100③有田県

736)63-10100③

14111、または各開催地の市町役場へ

くわしくは県消費生活センタ

ー ☎(0734)33-1-5551~

くわしくは最寄りの公共職業安定所または各高等技術専門校へ

（誰も先着順）

申込 電話で①伊都県事務所総務課 ☎(0736)34-1170

②那賀県事務所総務課 ☎(0

736)63-10100③

有田県

736)63-10100③

63-10100③

有田県

736)63-10100③

有田県

736)



蔵書能力百万冊 新県立図書館

和歌山市西高松の和歌山大学経済学部跡地では、新しい県立図書館等の建設工事が順調に進み、今年夏頃に開館の見込みです。

新しい施設は、県の中核図書館としての機能のほか、情報の収集、音や映像による学習情報の提供などを行う「文化情報センター」、古文書等の収集、研究や県の公文書の整理、保存などを行う「文書館(仮称)」を併せもつ複合施設です。

本を自由に選んで読むことのできる、約2,100平方㍍の広さの開架閲覧室や演劇、集会など多目的に利用できるホールなど設備も一段と充実し、県民のみなさんが気軽に楽しく利用できる施設となります。



迎春

今年のわかやまは…

「今年は何にチャレンジしようか」、

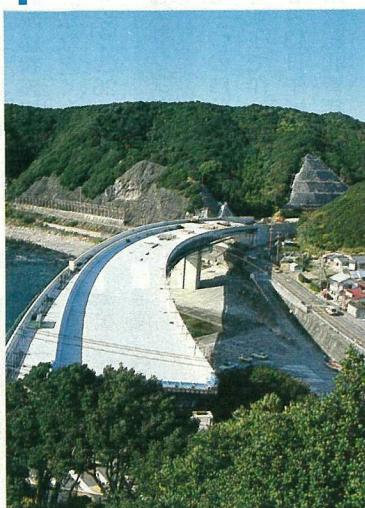
「今年こそは夢を実現…と希望でいっぱいの新春。

さて、今年のわかやまは…。

施設のオープン、道路の開通など話題の多い年になりそうです。

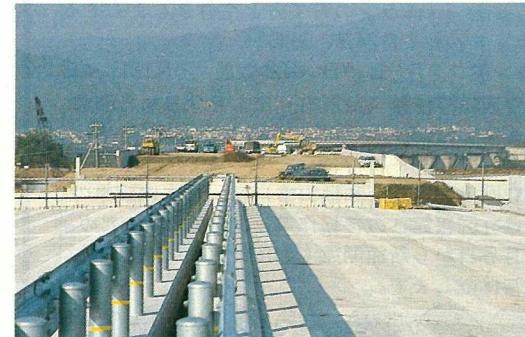
国道二四号和歌山バイパス

岩出町備前から和歌山市鳴神に至る国道二四号和歌山バイパスは、和歌山市中心部への入口となる地蔵の辻や田井の瀬交差点など周辺各所での慢性的な交通混雑を解消するため整備を進めている道路です。すでに和歌山市川辺・田屋間が通行可能となつていて、現在工事を行っている紀州大橋(和歌山市田屋・出島)など残りの区間も、平成五年中には通行できる見込みです。



日置川道路

和歌山市から三重県津市まで紀伊半島をほぼ一周する幹線道路、国道四二号。日置川町(すさみ町)間は急カーブが続くうえ、異常気象時には交通が規制されることもあります。この通行難を解消するため、トンネルと橋による整備が行われているのが日置川道路です。平成五年中には、第一期工事区間の日置川町日置・伊古木間が通行可能となる予定です。

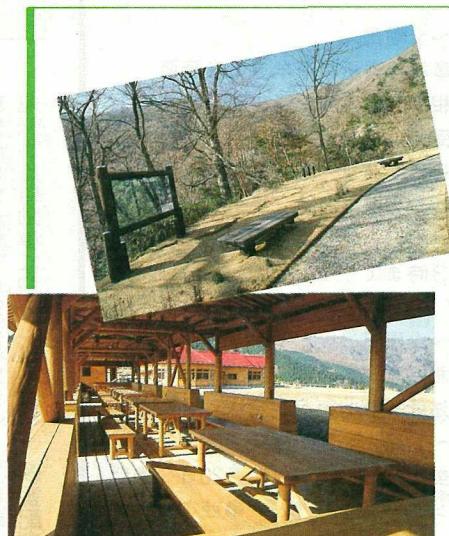


県内初の理工系学部 近畿大学生物理工学部開学

県では、関西国際空港に接する和泉かつらぎ山系の南斜面山麓一帯(岩出町、打田町)に、研究開発施設や住宅、先端産業などが立地する「南麓サイエンスパーク」計画を進めています。

その一環として誘致したのが近畿大学生物理工学部で、学舎などキャンパスの建設工事も急ピッチで行われていて、今年4月から開学します。

学部は、生物工学科、電子システム情報工学科、機械制御工学科の3学科で構成され、県内の理工系大学志望者への対応とともに、農業など第1次産業を含む地域産業の高度化、振興に大きく貢献することが期待されています。



森林公園「護摩壇山ワイルドライフ」

春から夏は新緑、秋の紅葉、そして冬の樹氷と四季折々の姿を見せる護摩壇山。山頂付近には、ブナやミズナラなどの県内でも数少ない原生林があり、ニホンカモシカやヤマネといった動物や野鳥、植物などの種類も多く、自然の宝庫といえます。

「護摩壇山ワイルドライフ」は、高野龍神スカイライン沿いの県有森林約200㌶を自然と親しめる森林公园に整備を進めているものです。

既に、動植物の写真パネル展示なども予定している木造りの総合案内所をはじめ、遊歩道や観察スポット(スカイライン沿いに5カ所)などもほぼ完成し、今年夏頃にはオープンの見込みです。



が
あ
き

昭和二十二年に誕生したこの「県民の友」も、今年で四十六歳となり、まさに今が働き盛り、ますます責任が大きくなってくる年齢です。新しい年を迎える、新しい決意で、新しいページを重ねていきたいと思います。本年もよろしくお願いします。

明けましておめでとうございます。人それぞれ多くの希望を抱え、多くの望みがかないますよう、心からお祈り申し上げます。

「世界リゾート博」は、自然と文化に恵まれた和歌山県を「国際的なリゾート地」として、日本全国へ、世界へアピールしようと開催する大イベント。今年七月からは、和歌山市で行う予定のオーブニング・セレモニーを皮切りに、白浜町でのオープニング・コンサートのほか、県内各地で楽しみなイベントも開催。

平成六年夏の主会場(和歌山マリーナシティ)開幕に向けて、リゾート気分たっぷりに「ヒーリング」を盛り上げます。

